

修訂日期 2007/01/13 発行日期 2007/3/7 発行単位 中華電子

大典協會 (CBETA) <http://www.cbeta.org> 資料底本 大正新修

大正藏經 Vol. 10 No. 279 原始資料 蕭鎮国大德提供 摩訶工作

室提供新式標点 仏教電腦資訊庫功德會提供 No. 279 [No. 278]

大周新訳大方広仏華嚴経序天冊金輪聖神皇帝製

蓋聞 造化権輿之首 天道未分 龜龍繫象之初 人文始着 雖

万八千歳 同臨有截之区 七十二君 詎識無辺之義 由是人迷四

忍 輪廻於六趣之中 家纏五蓋 没溺於三塗之下 及夫驚巖西峙

象駕東馭 慧日法王超四大而高視 中天調御越十地以居尊 包括

鉄圀 延促沙劫 其為体也 則不生不滅 其為相也 則無去無來

念処 正勤 三十七品為其行 慈 悲 喜 捨 四無量法運其心

方便之力難思 円対之機多緒 混大空而為量 豈算數之能窮 人

織芥之微区 匿名言之可述 無得而称者 其唯大覺歟

朕曩劫植因 叨承仏記 金仙降旨 大雲之偈先彰 玉辰披祥

宝雨之文後及 加以積善余慶 俯集微躬 遂得地平天成 河清海

晏 殊禎絶瑞 既日至而月書 貝牒靈文 亦時臻而歳洽 逾海越

漠 猷睽之礼備焉 架險航深 重訳之辞罄矣

《大方広仏華嚴経》者 斯乃諸仏之密蔵 如来之性海 視之者

莫識其指帰 挹之者 罕測其涯際 有学 無学 志絶窺覩 二乗

三乗 寧希聴受 最勝種智 莊嚴之跡既隆 普賢 文殊 願行之

因斯満 一句之内 包法界之無辺 一毫之中 置刹土而非隘 摩

竭陀国 肇興妙会之縁 普光法堂 爰敷寂滅之理 緬惟奥義 識

在晋朝 時逾六代 年将四百 然円一部之典 才獲三万余言 唯

啓半珠 未窺全宝 朕聞其梵本 先在于闐国中 遣使奉迎 近方

至此し 既き 覩とひやくせん 百千之妙し 頌み 乃ない 披ひ 十じゅう 万まん 之し 正文しょうもん 粵えつ 以い 証しょう 聖しょう 元げん 年ねん 歲さい 次し 乙おつ
未み 月がつり 旅よく 沽せん 朔さく 惟ゆい 戊ぼ 申しん 以い 其ご 十じゅう 四し 日にち 辛しん 酉ゆう 於お 大だい 遍へん 空くう 寺じ 親しん 受じゆ 筆ひつ
削さく 敬きやう 訳やく 斯し 經きやう 遂ずい 得とく 甘かん 露ろ 流る 津しん 預よ 夢む 庚こう 申しん 之し 夕じやく 膏こう 雨う 洒しゃ 潤にん 後ご 覃どん 王にん
戌じゆつ 之し 辰しん 式しき 開かい 実じつ 相そう 之し 門もん 還げん 符ふ 一いち 味み 之し 沢たく 以い 聖しょう 歷りやく 二に 年ねん 歲さい 次し 己ご 亥がい
十月じゅうがつ 壬にん 朔ごさく 八はち 日にち 己ご 丑ちゆう 繕ぜん 写しゃ 畢ひつ 功く 添てん 性しょう 海かい 之し 波は 瀾らん 廓かく 法ほつ 界かい 之し 疆きやう 域い
大乘だいじやう 頓とん 教きやう 普ふ 被び 於お 無む 窮ぐう 方ほう 広こう 真しん 筌せん 遐げ 該がい 於お 有う 識しき 豈かい 謂い 後ご 五ご 百ひやく 歲さい
忽こつ 奉ぶ 金こん 口く 之し 言ごん 娑しゃ 婆ば 境きやう 中ちゆう 俄が 啓けい 珠しゆ 函かん 之し 秘ひ 所しよ 冀き 闡せん 揚やう 沙しゃ 界かい 宣せん 暢ちやう
塵じん 区く 並びやう 兩りやう 曜りやう 而に 長じやう 懸けん 弥み 十じつ 方ぽう 而に 永い 布ふ 一いち 窺き 宝ほう 偈げ 慶きやう 溢いつ 心しん 靈りやう 三さん 復ふ
幽ゆう 宗しゆう 喜き 盈い 身しん 意い 雖すい 則そく 無む 說せつ 無む 示じ 理り 符ふ 不ふ 二に 之し 門もん 然ねん 而に 因いん 言ごん 顯けん 言ごん
方ほう 闡せん 大だい 千せん 之し 義ぎ 輒ちやう 申しん 鄙ひ 作さ 爰おん 題だい 序じ 云ん